

令和3年度
北辰大学 第2回学習会
●○● 事業報告 ●○●

日 時 令和3年6月9日(水) 10:00~11:10
場 所 五所川原市中央公民館・大ホール
参加人数 102名
講 師 五所川原市 総務部 防災管理課 課長 白取 寛康 氏
演 題 「災害時の心構えについて
～想定される災害と、自助・共助について～」



青森県内では過去にどのような災害があったか、私たちの地域ではどのような災害が起こり得るか、私たちに必要な備え（自助・共助）は何かについて、ご講演くださいました。

講演では、被害を軽減するためには事前の備えがとても大切で、それは備蓄だけでなく、たとえば洪水・土砂災害・津波・地震等の危険地域を知っておくことや、避難場所を確認しておくこと、普段から気象情報を得ることも事前の備えなのだそうです。また、自助というのは、飲み物・食べ物を備蓄したり、非常用持ち出し品を備えたりするなど、自分の命は自分で守ることで、この自助があつてはじめて共助があり得るとのことです。共助は近隣住民とともに災害時に助けあふことですが、それだけではなく、ご近所の方々と顔見知りになること、防災訓練を行う、参加すること、みんなで避難ルートを考える、確認する、災害時に支援の必要がある方を確認することなど、普段から地域コミュニティへの参加が共助の第一歩となるとのことでした。

第2回の学習会は、事前に備えることの重要性と、まずは自分の命を守るための行動を取ること、自助があつて共助があることなどが理解できました。災害は起こってほしくないですが、事前に備え、心構えはしっかりしたいと思った学習会でした。

